

新城市のトマトについて



①本市におけるトマト産地の概要

新城市は平坦部の「新城地域」と、平均標高550mの高冷地である「作手地域」に分かれます。トマトは主に、作手地域（※下表図示）で栽培されており、朝晩の寒暖差の大きい高原地域の特性を活かした、色艶の良い甘くてジューシーなトマトは出荷市場からも評価が高く「**高原トマト**」として栽培・出荷されています。

出荷時期は6月中下旬から11月末までで、高原地域の寒冷な気候を活かした夏秋産地として位置づけられています。

トマト部会では、トマト生産に求められる「収量・食味・耐病虫性」の3要素を兼ね備えた、夏秋栽培に最適な栽培品種「**りんか409**」が主に栽培されています。

近年は、1ターンなどの県外からも新規就農者を毎年受け入れており、20代から40代の若い生産者も多く活躍しており、従来の「土耕栽培」や「養液土耕栽培」に加え「**養液隔離栽培**」といった病害発生リスク分散型高収量の栽培方法も導入しています。



土耕栽培

昔ながらの栽培方法で、設備投資を安く抑えることができます。



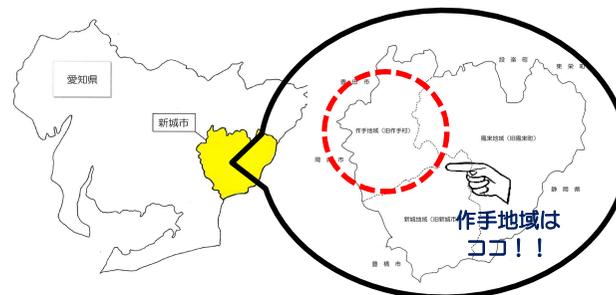
養液土耕栽培

土耕栽培に比べ、灌水・施肥の作業時間短縮・収量も増加します。



養液隔離栽培

土耕・養液土耕栽培に比べ、土壌病害のリスクが減り、管理が楽になります。



② トマト栽培年間の流れ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
栽培	土づくり <small>※土耕栽培の場合</small>	播種育成 <small>※購入苗の場合は無し</small>		定植								収穫終
	期間A		期間B			期間C						

③ トマト栽培1日の流れ

期間A	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	
土づくり・播種 (土耕)									休憩													

期間B	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	
定植から 収穫前まで									休憩													

期間C	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時	
収穫時期									休憩													

※個人の経営体系によって作業方法や作業時間等の違いがあります。